

2020年活動スローガン「バングラデシュ支援35年 愛の輪 令和に続け」

報 告 2020年7月～9月支援分

〈バングラデシュ〉

●トイレ寄付

- ・「フォーリオ総合鑑定」由里正博様よりカパシア郡の学校にトイレを3基
- ・「日本レイキヒーリング関西協会」様よりカパシア郡の学校にトイレを1基
- ・会員有志の方よりカパシア郡の学校にトイレを4基

〈フィリピン〉

8月にフィリピンの「財団法人北ルソン比日基金」へ今年度奨学金200万円を寄付

〈国内活動〉

- 毎月第4火曜日（休日の場合は第3火曜日）にあおぞら食堂エンゼル（子ども食堂）を開催しています。食堂開設にあたり兵庫県より「子ども食堂」応援プロジェクト事業を通じて補助金85,000円、運営資金として公益財団法人オリックス宮内財団より135,000円、伊丹市社会福祉協議会の善意銀行より32,000円、同じく会員有志の方より20,000円を寄付頂きました。また、佐賀県のNPO法人「POSA」の井上望氏より食材（お米30kg、豚肉4.2kg、玉ねぎ20kg等）をご寄付いただきました。ご協力ありがとうございました。

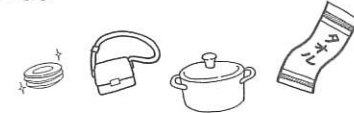
イベント情報

10/21 (水)

秋のチャリティバザー

場所: 本協会ボランティアセンター（伊丹市）
時間: 10:00～14:00

※感染症対策として今回は模擬店・休憩スペースはございません。



●チャリティバザーにご協力ください●

バザーで販売する品物のご提供をお願いしています。食器・なべ類、シーツ、タオル、衣料、食料品、石鹸、カバン、おもちゃなどいつでも受け付けています。ご近所でしたら引き取りに伺います。事務所までご連絡下さい。
☆取り扱っていないもの☆ 家具、布団、電化製品、自転車、使用済み食器等

お願い

ご家庭に眠っている未使用の切手やハガキ等ございましたら是非ご寄付ください。いただきました切手やハガキは当協会運営の一部に充てさせていただきます。

会員募集

本協会の活動は皆さまの会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円
特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員(教育里親)

1ヵ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。

郵便自動払込方法も受付ています。

郵便振替・口座番号
01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願いいたします。

会員数: 一般会員 686名
DCEF会員 660名
(10月1日現在)

編集後記

8/1はイスラムの犠牲祭でした。エンゼルホームではその日に捧げられる牛を7月初頭に購入し、大切に育てていました。当日まで牛と共に過ごす時間、そして別れの時、その後の食事、子ども達にとって大きな経験となった事でしょう。いつの日か、我が子にもこのような貴重な体験をさせてやりたいなと思いました。

2020年 行事予定

10月現在

10月	20日(火)～26日(月)	ノクシカタ販売	高円寺ギャラリーR	東京都
	21日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
	25日(日)	ノクシカタ販売	ウエステ垂水青木電器店前	神戸市
11月	7日(土)	チャリティバザー	スーパーニシヤマ三田店	三田市
	10日(火)	チャリティバザー	垂水駅前東広場	神戸市
	28日(土)	ミニチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市

※行事予定はホームページ上にも掲載、随時更新しています。

今季号は新型コロナウイルスの影響でページ数を4ページとさせていただきます。

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp

ANGEL NEWS

通巻193号
2020.10

あおぞら食堂エンゼル(子ども食堂)

国際エンゼル協会では、例年ですと6月に「楽しいボランティアひろば」が開催されます。しかし今年は様々な事が例年通りとはいきませんね。何とか3密を避け安全にできる方法はないかと模索し、ボランティアのみなんで案を出し合い、規模は大幅に縮小となりましたが、それでも感染症対策を十分に施して7月5日に開催いたしました。地域の方も「毎日の閉塞した自粛期間の中での息抜きになった」と、とても喜んでくださいました。

また、今年度より行っています「あおぞら食堂エンゼル」(子ども食堂)では、地域の子ども達も外で食べる食事を楽しんでくれています。市や市社協、保健所の関係者の方と相談して「どうすれば安全に開催できるか」、そしてボランティアのみなんで「どうすれば制限のある中で子ども達の憩いの場とされるか」を検討して進めています。

今まではたくさんの方に来ていただくこと、そしていかに楽しんでもらえるかを考えてきました。「お客様に喜んでいただき、その結果バングラデシュ等の途上国支援につながる。そしてお客様の楽しそうな声や、現地の子ども達の幸せそうな笑顔が私達の幸せとなる」そう思い38年間活動が続けてきました。しかし、今はまず第一に「感染を広げないようにしながら〇〇〇」となっています。それでも国際エンゼル協会のボランティアの力はこの状況も吹き飛ばす勢いで、制限の中でもいかに楽しくできるか、来られた方に喜んでもらえるかに全力で取り組んでいます。

子ども食堂に来てくれた子ども達や「楽しいボランティアひろば」でバングラデシュの事を知った方達が、いつか当協会現地責任者のアジズル・バリ氏より直接現地の話を聞いたり、またスタディツアーやファミリーツアーでバングラデシュに行き様々な体験ができる日が戻って来ることを信じて、これからも支援の輪を途切れさせないよう活動を続けていきたいと思っています。

スタッフ 東村 良平



バングラデシュ支援35年の歩み ～エンゼルホームの子ども達の成長と共に～

1984年に初めて前代表川村百合子はバングラデシュを訪れました。その時目にした光景は日本の終戦当時、焼け跡で必死に生きてきた頃の情景が重なって見えたそうです。そして、とても優しい純情なこの国の人達に日本と同じように教育が行き届けばきっと生活も改善され、豊かになっていくだろうと確信を持ったそうです。

それからダッカで12名の小さな子ども達を預かって孤児院を始めました。かわいい子ども達の将来を考えていくうちに夢は拡がり、子どもの教育や女性の自立のための支援活動を進めてきました。

あれから35年、今バングラデシュは目覚ましく発展しつつあります。預かった子ども達は立派に成長して社会に巣立っていきました。「私の人生はこのエンゼルホームから始まりました」「エンゼルホームで育ち大学まで行く事が出来、就職し、親や兄弟達も助けられる。また結婚して子ども達を学校に行かせられます。本当にありがとうございます」そんな子ども達の言葉を聞くたびに支援を続けてきて良かったと嬉しく思います。これも私達の活動を支えてくださっている日本の皆様のお力添えの賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。教育は成果がすぐ見えるものではありません。しかし一人の人生を大きく変えていけるものだと思います。これからもどうかご支援をお願いいたします。

代表理事 東村 眞理子



バングラデシュ 1985年代 支援開始



1985年にダッカ事務所、翌年に児童養護施設を開設し12人の子どもを預かる



1989年
教育里親制度DCEF設立

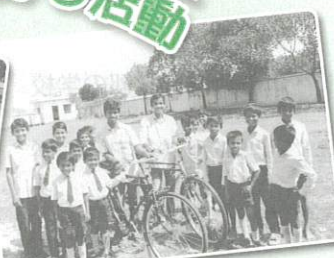


新たなプロジェクトを 立ち上げ、広がる活動

1990年代



1990年コナバリ村の広大な敷地に、子ども達がのびのび暮らせる「エンゼルホーム」をオープン



1990年スタディツアー開始
現地の活動を見学し、楽しく交流



1991年ワークキャンプ開始
井戸やトイレを作り現地の人とふれあう

1993年 職業訓練所開設
1994年 農業研修センター開設
1995年 識字教室開設

1996年 女性自立センター開設
1999年 クリニック開設

交流も活発になって

2000年代

卒業後、社会で活躍する子ども達

2010年代

そして現在...



月2回全員でミーティングを行い、積極的に意見を出し合います。年長の子達が小さな子の面倒を見て、まるで本当の兄弟のようです。



早朝の掃除



2002年にはエンゼルホームの子ども達を日本へ招聘



和太鼓「はぐるま」によるバングラデシュ親善公演
(2003・2004年)

2005年YURIKO
エンゼルスクール開校



2005年よりエンゼルホームを巣立った子ども達がOB会を立ち上げ、自国で困っている人達の支援活動を行っています。



学校の先生、病理検査士、NGO団体の会計士として働いています。



検眼医として病院で勤務



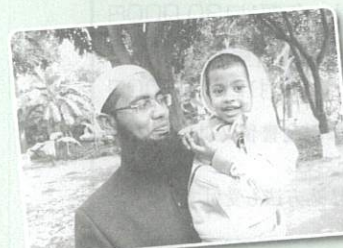
エンゼルホームの
クリニック勤務

2011年
寺子屋風教室
スリジョニ開設



看護師に

卒業した子ども達は、他にも医者・銀行員・エンジニアなど様々な分野で仕事をし、社会や家族のためにがんばっています。



地方裁判所判事補に



イギリスでレストランを経営



たくさんの子ども達がエンゼルホームを巣立っていきました。年末には毎年家族を連れてエンゼルホームに集まります。うれしい事や困っている時も連絡があり、まるで大きな一つの家族のようにみんな仲良く支え合っています。

卒業生146名、エンゼルホーム在籍65名
2020年9月現在

メッセージをお願いします!

1985年に始まった本協会のバングラデシュでの活動が今年で35周年を迎えることが出来ました。長年に亘る皆様のボランティア活動の積み重ねが着実にバングラデシュで喜びの実をみのらせていると云えるでしょう。

このたび35周年を記念して皆様の思いや子ども達への励まし、また応援メッセージを募集させていただきます。皆様からのお便りお待ちしております。よろしく願いいたします!

◇字数は300字以内、メール、FAX、手書き等で事務局へ届けてください。
締切り11月13日